

2017年12月1日

12月4日（月）からサービス開始



京王線6駅の駅コインロッカーで DHLの国際宅配便が受け取れます！

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、社長：紅村 康）では、12月4日（月）から京王線6駅（笹塚駅・桜上水駅・千歳烏山駅・飛田給駅・聖蹟桜ヶ丘駅・橋本駅）の改札外に設置するコインロッカー（運営：京王地下駐車場株式会社 本社：東京都渋谷区、社長：反町 哲也）にて、DHLジャパン株式会社（本社：東京都品川区、社長：山川 丈人（以下、「DHL」という。））が配送する国際宅配便の受取りサービスを開始します。

これは、駅に既設しているコインロッカーのさらなる有効活用を図り、駅の利便性向上や社会的な課題となっている再配達削減を目的に実施するもので、京王地下駐車場株式会社が提供する「駅中受取コインロッカー」の新しいサービスです。

このサービスにより、個人のお客様が海外通販サイトなどで購入した荷物を受け取りの際、DHLのWebシステム（On Demand Delivery）で、配送先をサービス対象駅のコインロッカーに指定すると、駅のコインロッカーで国際宅配便を受け取ることができます。サービス提供時間内（原則6時～24時）であれば、お客様のご都合の良い時間や、配達時間外の夜間から深夜にかけての帰宅途中などにも気軽に受け取ることができます。

なお、お客様にはロッカーの使用料や配送料などはかかりません。

詳細は下記のとおりです。



◀ DHL ▶



◀ 「駅中受取コインロッカー」（聖蹟桜ヶ丘駅） ▶

1. 国際宅配便受取りサービスについて

- (1) 利用開始日 12月4日(月)
- (2) 利用可能駅 笹塚駅・桜上水駅・千歳烏山駅・飛田給駅・聖蹟桜ヶ丘駅・橋本駅
(すべて改札外に設置されたコインロッカー)
- (3) 受取可能時間 6時～24時 ※笹塚駅のみ24時間受け取り可能です。
- (4) 受取可能期間 ロッカーへお届けした日の翌日24時まで受け取り可能です。
- (5) 利用料金 無料 ※ロッカーの使用料はかかりません。
- (6) 利用手順

①DHLからの通知

受取人へDHLから「お届け予定Eメール/SMS」または、「ご不在連絡Eメール/SMS」が通知されます。

②受取場所の指定

DHLのWebシステム(On Demand Delivery)にて、希望する駅のコインロッカーを受け取り場所に指定します。

③お届け完了の通知

DHL配送スタッフがコインロッカーに荷物をお届けすると受取人へパスワードが通知されます。

④荷物の受け取り

指定した駅のコインロッカーの操作画面に、パスワードを入力するとコインロッカーの扉が開錠され、荷物を受け取ることができます。

2. お客様のお問い合わせ先

- (1) 「駅中受取コインロッカー」について

京王地下駐車場株式会社 TEL. 03-5333-8711
(平日10:00～17:00)

- (2) 国際宅配便について

DHLカスタマーサービス TEL. 0120-39-2580
(月～木 : 8:00～19:00、
金・祝前日 : 8:00～20:00)

以上

【参 考】

1. DHL ジャパン株式会社について

会社名 DHL ジャパン株式会社
代表者 山川 丈人
所在地 〒140-0002
東京都品川区東品川1-37-8
事業内容 国際エクスプレス貨物輸送等

2. 「駅中受取コインロッカー」設置会社について

設置会社 京王地下駐車場株式会社
代表者 反町 哲也
所在地 〒151-0072
東京都渋谷区幡ヶ谷1-2-2 京王幡ヶ谷ビル
事業内容 駐車場業、不動産賃貸業、コインロッカー業

3. 「駅中受取コインロッカー」ロッカー製造会社について

製造会社 株式会社アルファロッカーシステム
代表者 柳内 勝彦
所在地 〒236-0004
神奈川県横浜市金沢区福浦1-6-8
事業内容 コインロッカー及びこれに関するシステム/周辺機器の製造/販売/リース/
オペレーション業務等

4. 「駅中受取コインロッカー」のサービス概要について

駅に既設済のICカード対応のコインロッカーをより有効活用するため、2016年2月～9月まで、京王地下駐車場株式会社と株式会社アルファロッカーシステムとで、宅配事業者・通販会社等と協業し、荷物の受け渡しサービスに係る様々な実証実験を行ってきました。

これらをふまえ、新たなコインロッカーのサービスとして、2017年5月23日から、京王グループの京王書籍販売株式会社（本社：東京都多摩市、社長：小幡 道弘）が運営する啓文堂（けいぶんどう）書店のホームページから注文した書籍を、当日中に京王線の駅コインロッカー（11駅）で受け取れる「当日受取りサービス」を開始しています。

この度、DHLの国際宅配便の受け取りサービスを開始することで、「社会インフラとしての宅配ボックス等の鉄道駅等への整備促進」（出典：国土交通省「宅配の再配達削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会」報告書〔平成27年10月14日〕）に基づいた取り組みを促進し、今後とも宅配の再配達発生による社会的損失抑制への取り組みと、コインロッカーの有効活用を図ることで駅の利便性のさらなる向上に努めていきます。